

日時 2011. 11. 13 (日) 快晴
コース 富岳風穴～東海自然歩道～精進民宿村～城山登山～本栖湖
参加者 一般=18名、会員=6名 計=24名

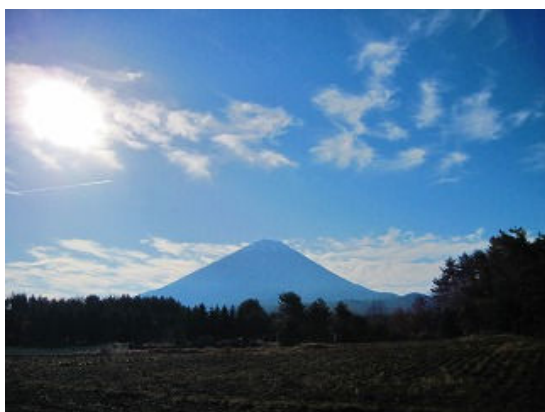


1. 焼間発 8:30

立冬が過ぎたのに気温 22℃と少々汗ばむ一日でした。準備体操を終え、総勢 24 名が心地の良い秋風の中、出発です。空はスカイブルー、天高く清々しい空気が澄み渡り、艶やかな山々の彩りをはっきりと目にすることができます。

静岡県とは違うロケーションに暫しうっとり。こんなに天気の良い日にハイキングが出来ることに感謝です。私は 9 月末に富士山一周ウォーキングで青木ヶ原樹海を訪れております。

暑苦しいほどの深緑の姿が失せてパレットをひっくり返したような色とりどりの風景がとても美しいと思いました。



2. 焼間・氷穴間 8:35

今日の行程はご案内によりますと、標高差は殆どなく（穏やかな下り道） 困難度は易しいとのこと。

鳴沢氷穴までは白い綿帽子をかぶった富士山を終始眺めることが出来、満足な一日の始まりです。

左を向くと富士山。右を向くと紅葉台が見えるようですが左の風景に魅せられ右は向いた記憶がありません。

失礼しました。



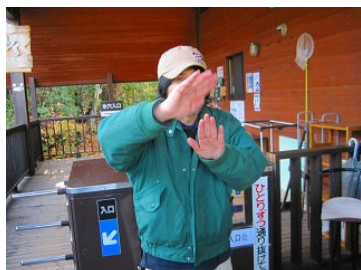
3. 鳴沢氷穴 8:45

入場料団体割引で 230 円。（団体割引）で入場。この先にある富岳風穴と鳴沢氷穴は天然記念物の氷柱があり、触って良いとのこと。

ザックを下ろし、上着をきて薄暗い階段を下りて行きます。手すりは艶々になってしまった竹で出来ていて、階段のステップは結構きつかったです。一気に地下 21m まで下り、大変疲れました。中はとても寒く、狭くて天井が低い。照明はついていますが、道案内程度。

溶けかかっているような氷を触り、当たり前ですが「冷たい！」一方通行、10分程度一回り。急な階段を上り地上に到着しました。朝一番 苦しい登りでした。

戦場カメラマン・渡辺さん似の説明係りが、可笑しかった。





4. 青木ヶ原樹海（東海自然歩道） 9 : 40

富岳風穴でトイレをすまして、いざ青木ヶ原樹海に突入です。樹海の中は驚いたことに明るかったです。自然歩道付近は赤や黄に色づいた落葉樹が多く、また歩道はこんもりした落ち葉で大変歩きやすく、膝に易しい。

木々の間から太陽が見え一年の内これからのシーズンが一番明るい樹海だと思いました。夏と違い深い樹木に覆われて感じた息苦しさやどんより寒々とした感はなく、健康的です。青木ヶ原樹海は熟成した晩秋に味わいがあります。



5. 精進湖民宿村 11 : 15

ゆっくりと1時間40分程度で精進湖民宿村に到着。

ここでも見事な色に染めあがった楓、紅葉、銀杏が迎えてくれました。

実りの秋です。大豆を家先に干しているお宅もありました。



6. 昼食 11 : 30 ~ 12 : 30

「翠名荘」の一室をお借りし昼食です。参加者の方々はそれ程、疲れを感じていらっしやらないようで、和気あいあいと声高らかに笑いお話に夢中でした。健康ですね！

ゆっくり休憩した後、また、東海自然歩道を歩きます。

東海自然歩道は青木ヶ原樹海の北側を通過しているようですがどこまで続くのでしょうか？青木ヶ原樹海は通称で、正式は富士山原始林。

標高 1000m 大きさ 30 km² という巨大さだそうです。参加者に磁石を持参なさっている方も見受けられました。結果は聞いておりません。



7. 城山（1056m）登山 12 : 50

歩行を始めて20分位の所に城山入口があります。

当初のご案内では「城山」としか記載されておらず、ルート案内を右に見て、通り過ぎるはず？と思いました。が、参加者の方々の意欲的な歩行、時間に余裕があったのでしょうか・・・

リーダーのルート変更（山には付き物らしい？）で急遽、山登り！えっ！喜んだ方の方が多数いらっしやいました。参加者の方々の素晴らしい体力に驚きです。

30分ほど登ったところに城山頂上 本栖城跡があります。城跡だった所とあって、ただの登山ではなくロープに捕まって登らなければならない所もありました。

高所恐怖所の女性がおりまして、必死の様子でした。彼女には

気の毒なことだったと思います。また、お一方左腕に障害のある方もいらして、どうなる事かと心配しておりましたが、脱帽です。鍛えていますね。驚きました。



8. 記念写真 13:20

城山の本栖城跡は富士山や精進湖、本栖湖、青木ヶ原を展望できる素晴らしいところでした。

午後になり富士山に雲がかかり始めた所でしたが眺められたことは幸運です。



9. 下山開始 13:30

リーダーの判断で、上って来たルートと違うルートを下ることになりました。地図では破線道なのでハッキリしません。リーダーの指示で登山道整備をしながらの下山です。折れた木々を押し分け安全な通り道を造ります。作業をしながらの下山で心配なのは明日の筋肉痛。

何とかか誰も怪我をせずに東海自然歩道の合流地点まで、たどりつくことができました。約50分掛かりました。

↑ルート整備中の私です(笑)



10. 本栖湖手前 14:30

合流地点から「本栖湖」の標識をみて、皆も一安心ゴールまでもう少し。頑張りましょう！

参加者の男性お一人があともう少しの所で足の大腿部内側の筋肉を痛められ湿布を貼りました。本人曰く、「水分補給が少なかったかもしれない」との事でした。湿布剤は予防的に使用しても問題はありませんので、筋肉の緊張がある場合は早めの使用が良いと思います。取り敢えず残りが歩いてヨカッタヨカッタです。

今年の夏は雨量が多かった為 本栖湖の水面が1m以上冠水していました。さすがにボート乗り場は、元通りでした。日曜日のせいか紅葉狩りの観光客が多かったです。



11. ビューポイント 15:10

早くも来年の年賀状用と考える方が
いらっしゃいました。思わず私も！
自慢したいと思いました。

美しく気高く力強い富士山。永遠に。



12. 本栖湖記念写真 15:10

このビューポイントは本栖湖北岸です。
旧5000円札や新1000円札のデザイン
になっている有名な場所です。

ラッシュの最中富士山をバックに記念写真
を撮影出来た事は凄いです。

後藤リーダーと皆様のご協力に感謝致しま
す。

お疲れ様でした。合掌。

おわり